

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

真庭市教育委員会

Ⅰ 調査の実施状況

(1) 調査の目的

子どもの体力が低下している状況に鑑み、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、子どもの体力への関心の向上や学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査対象学年

小学校第5学年、特別支援学校小学部第5学年、義務教育学校前期課程第5学年

中学校第2学年、中等教育学校第2学年、特別支援学校中学部第2学年、義務教育学校後期課程第2学年

(3) 調査内容

ア 実技に関する調査(新体力テスト8種目で実施)

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅跳び
ボール投げ(小学校はソフトボール、中学校はハンドボール)

イ 質問紙調査

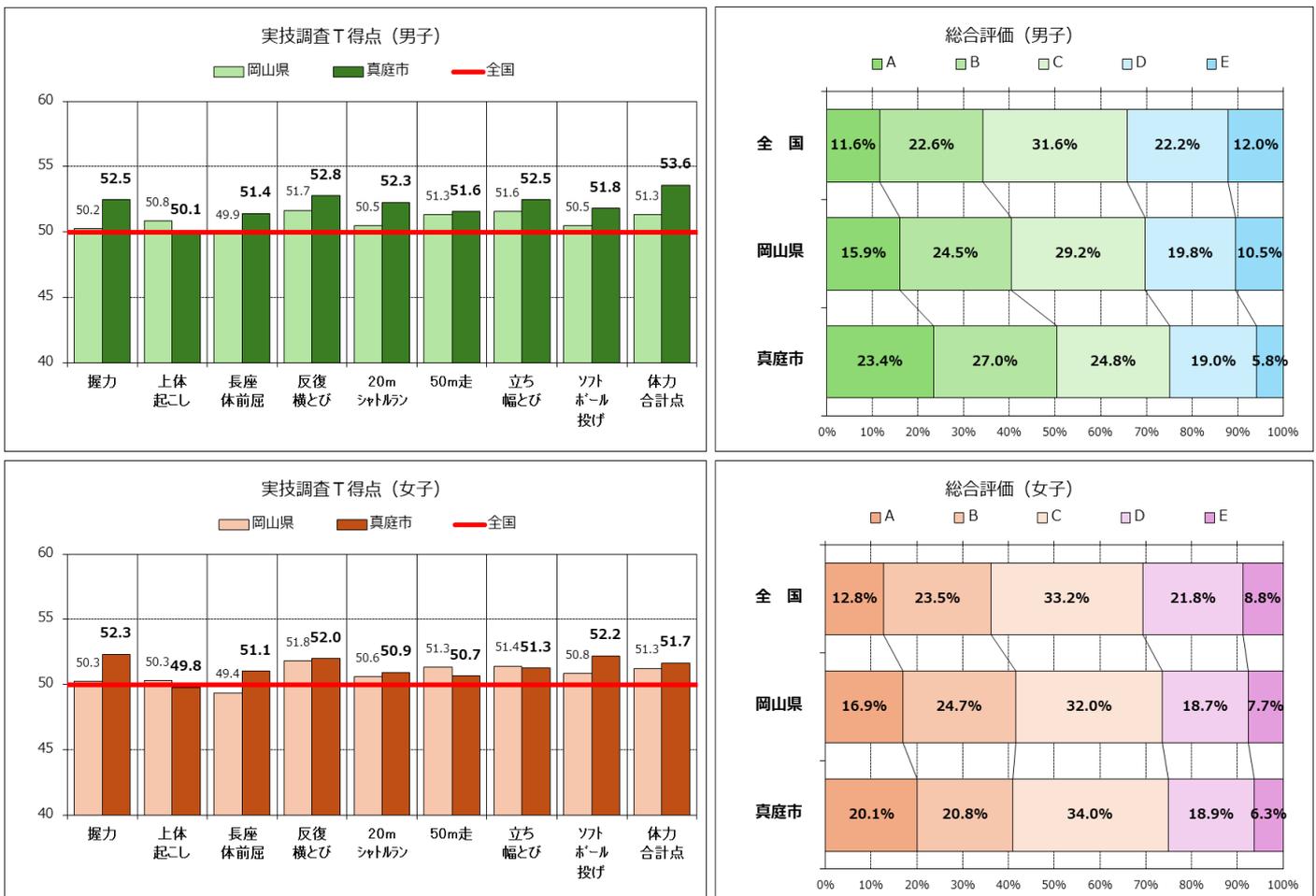
児童生徒:運動習慣、体育授業等の項目

学 校:子どもの体力向上に係る取組等に関する項目

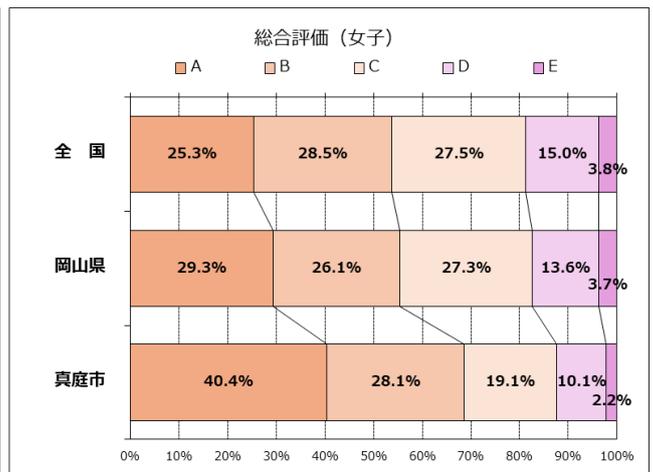
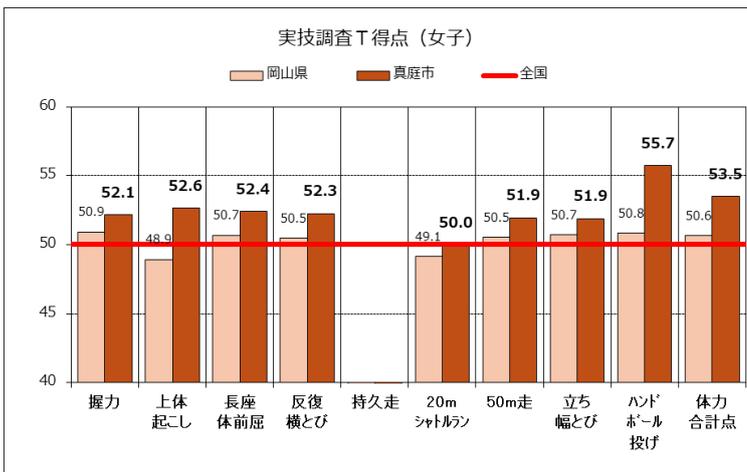
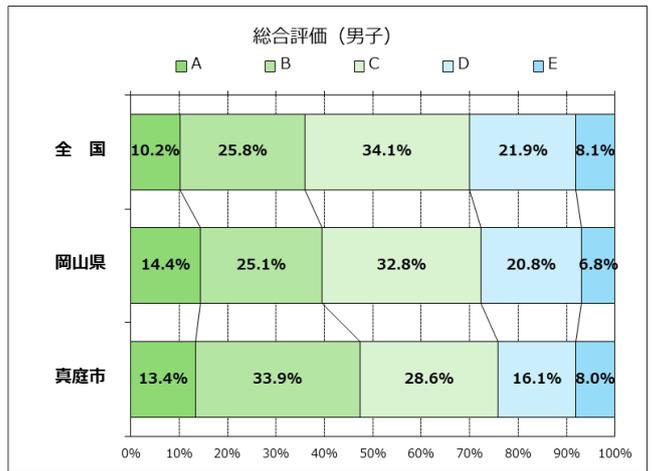
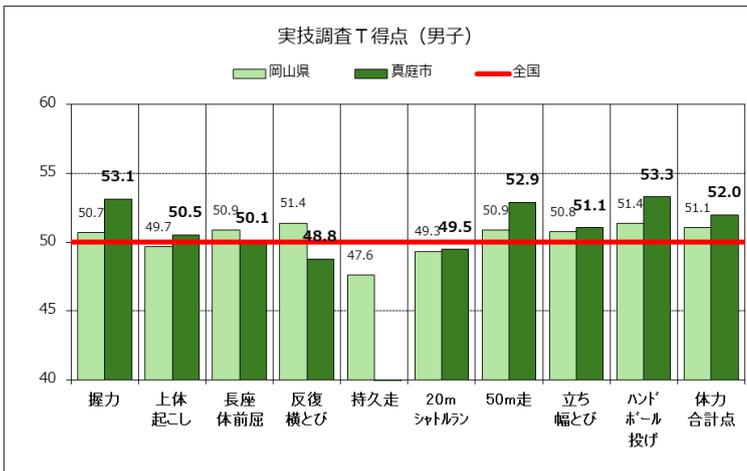
2 実技集計

(1) 令和7年度実技調査 T 得点(全国平均を 50 とした時の真庭市児童生徒の得点と総合評価)

【小学校】



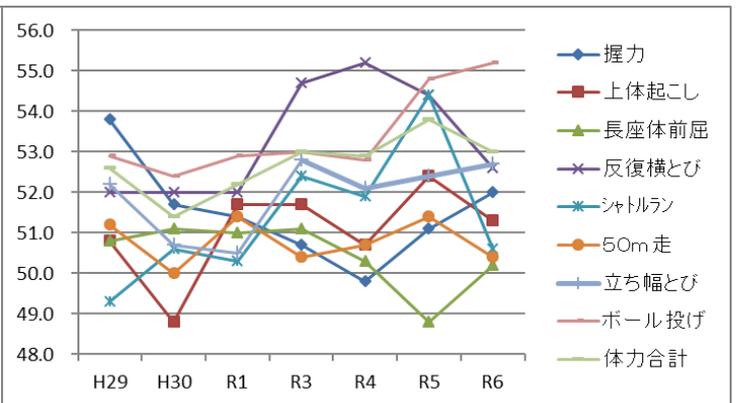
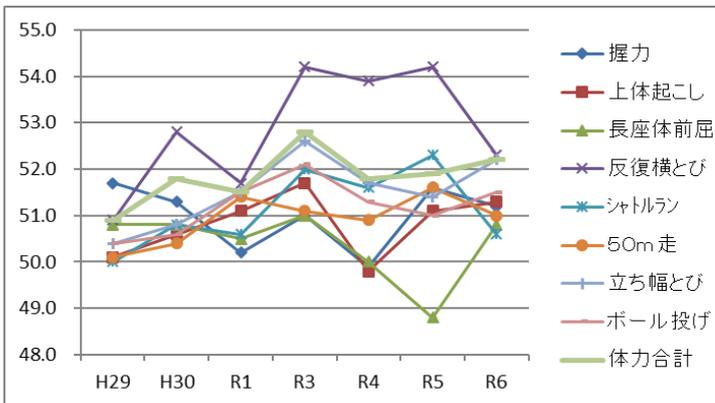
【中学校】(持久走と20m シャトルランは選択となっており、真庭市は20m シャトルランを実施)



(2) 実技調査 T 得点の経年変化(全国平均を 50 としたときの、真庭市の実技得点の経年変化)

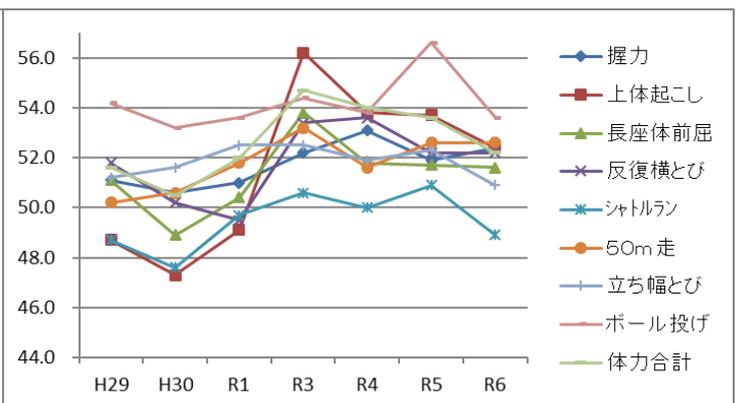
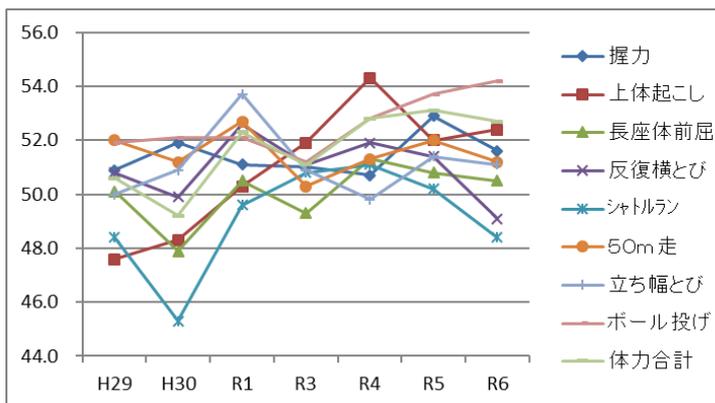
【小学校男子】

【小学校女子】



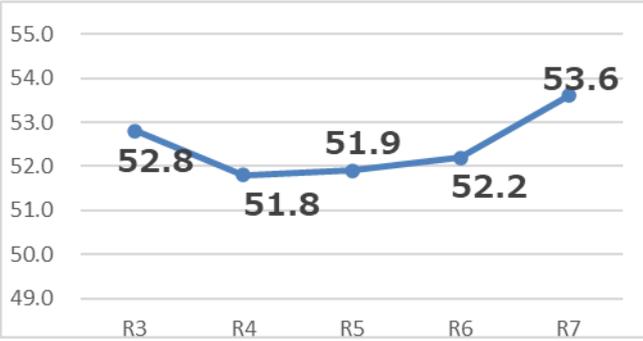
【中学校男子】

【中学校女子】

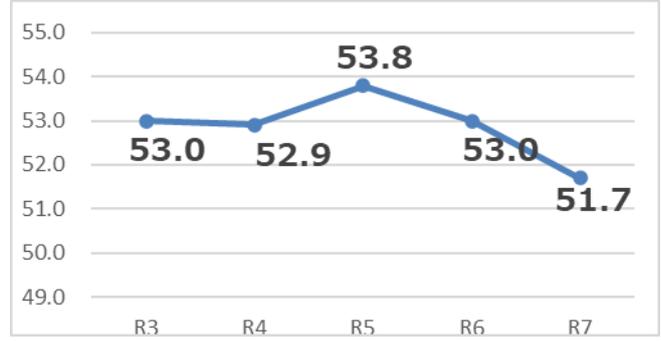


(3) 体力合計得点の年次推移

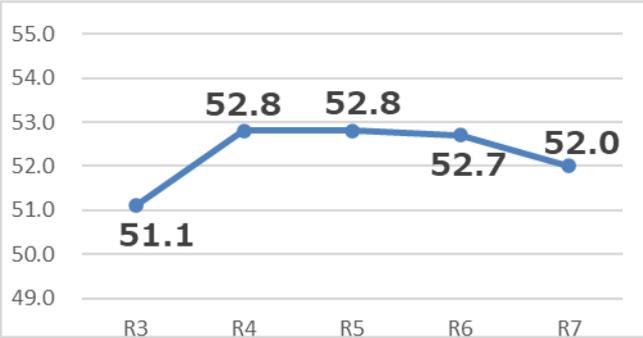
【小学校男子】



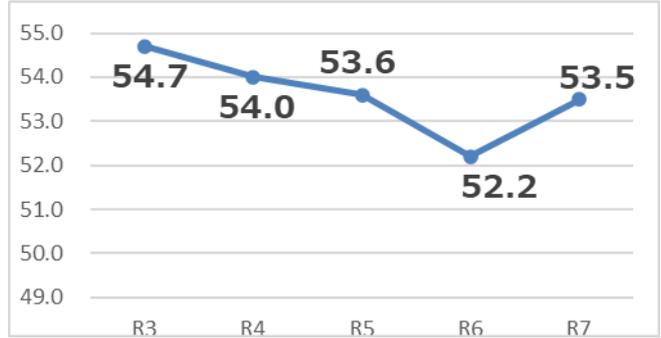
【小学校女子】



【中学校男子】



【中学校女子】



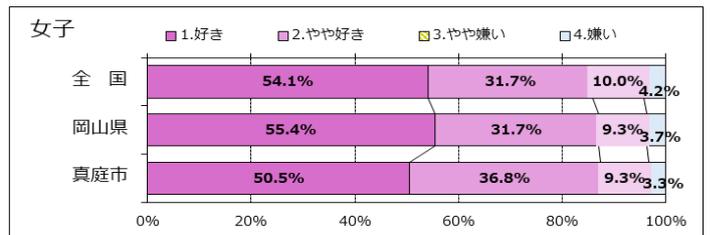
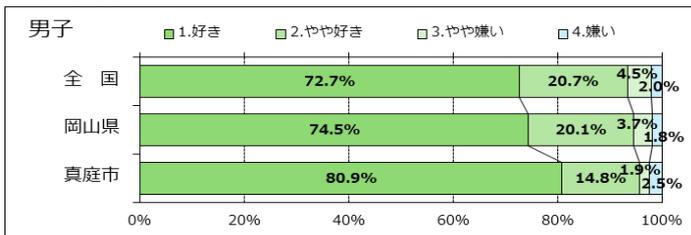
令和7年度の調査でも、多くの実技種目で全国・県平均を上回る結果となりました。ボール投げではどの学年でも高い平均値が出ているほか、握力や50m走では多くの学年で平均を上回っています。学年によっては上体起こしや反復横跳び、シャトルラン等でやや課題がみられました。経年変化から年度によって差はあるものの、真庭市の児童生徒の体力は全国と比べて引き続き高い状態にあるといえます。

2 児童生徒質問紙

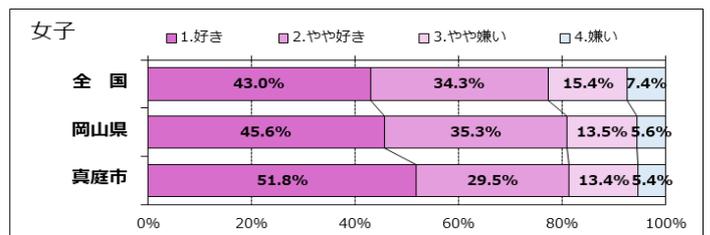
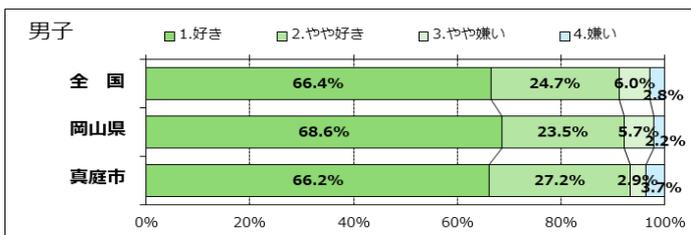
(1) 運動やスポーツについて

○運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

小学校

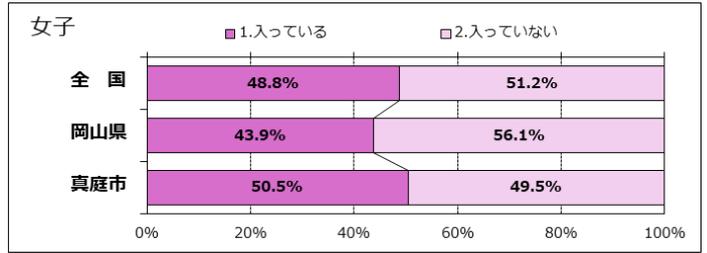
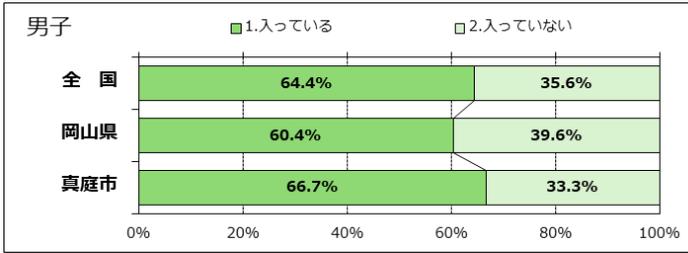


中学校

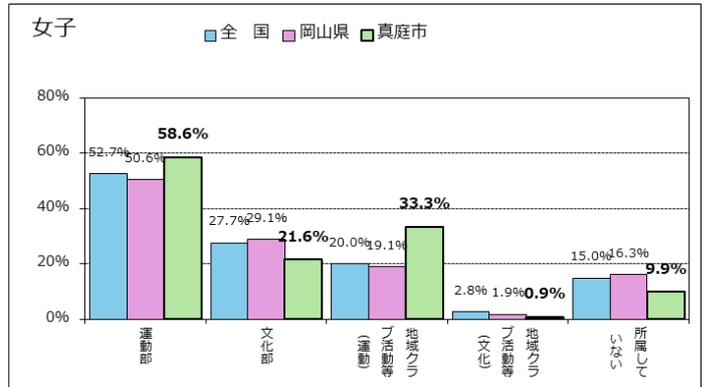
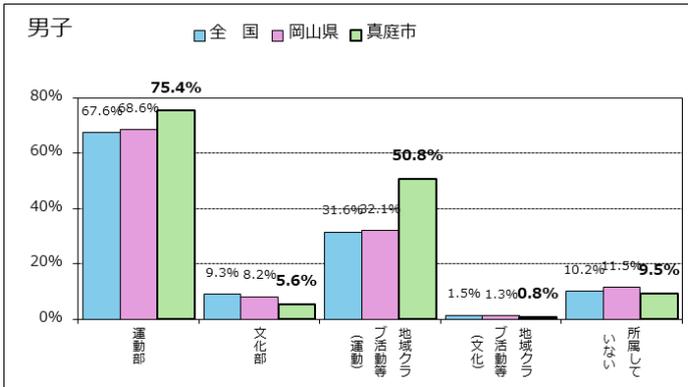


○学校の運動部や地域のスポーツクラブ(スポーツ少年団や習い事をふくみます)に入っていますか。
当てはまるものをすべて選んでください。

小学校

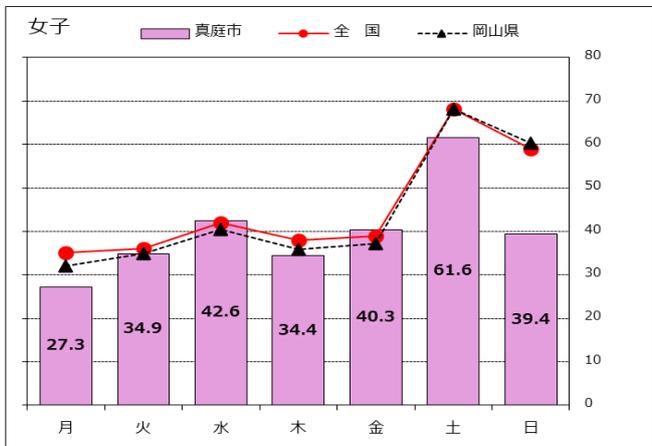
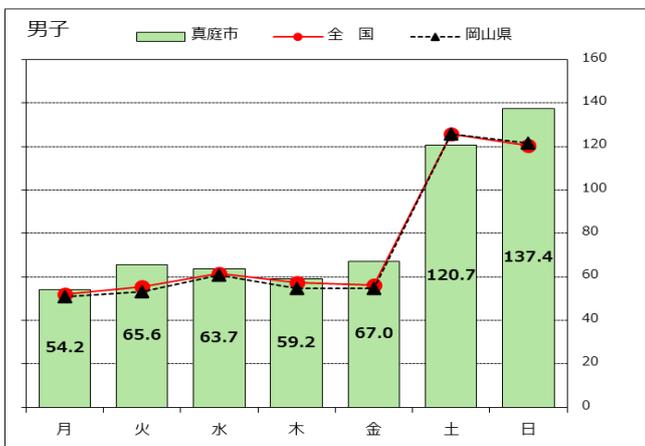


中学校



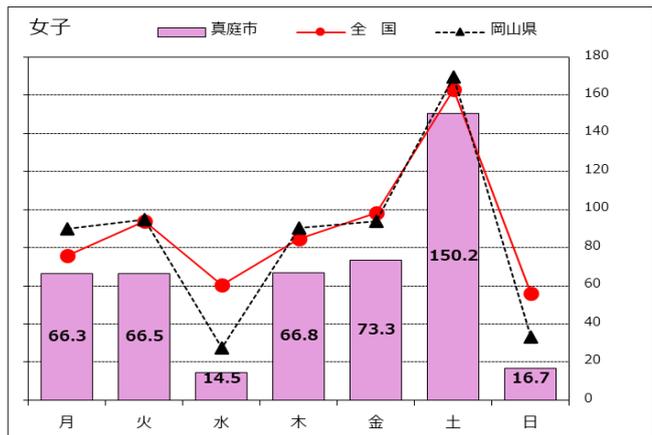
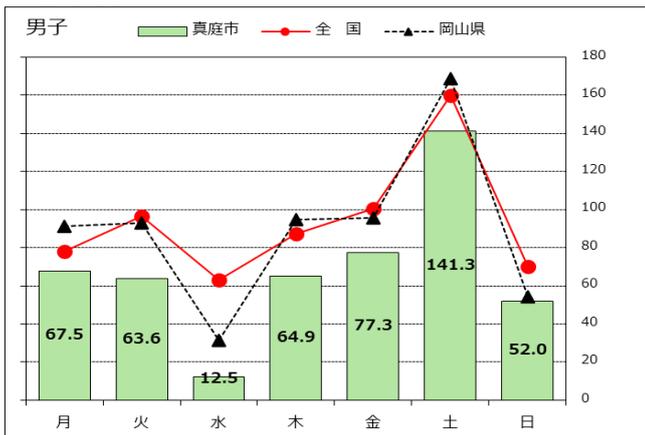
○学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間をしていきますか。(曜日ごと)

小学校

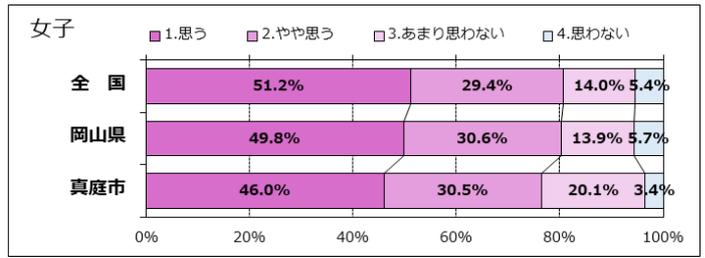
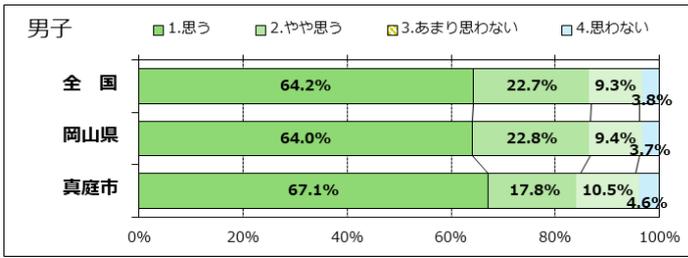


○学校の運動部や地域のクラブ活動(スポーツ)、その他のスポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツ、それぞれ何分ぐらい活動していますか。(学校の体育の授業を除く、曜日ごと)

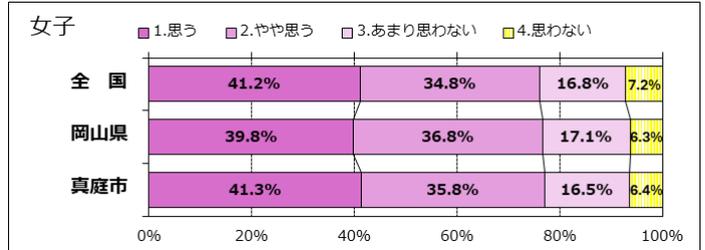
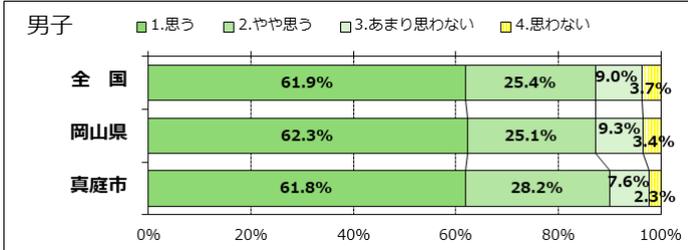
中学校



○中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



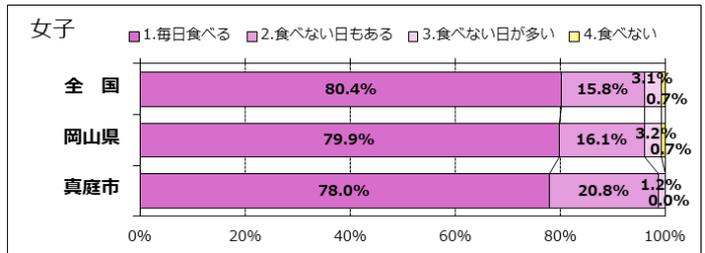
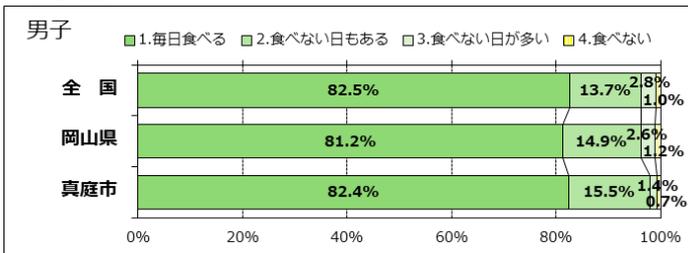
○中学校を卒業した後も、自主的に運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



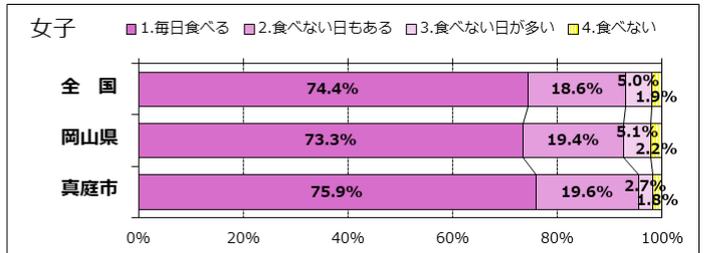
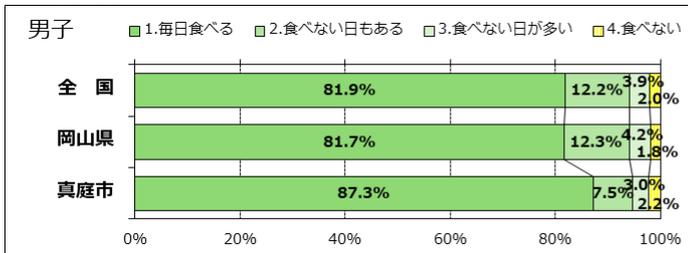
(2) 生活習慣等

○朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)

小学校

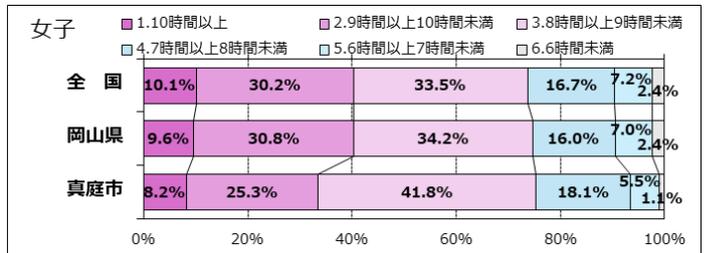
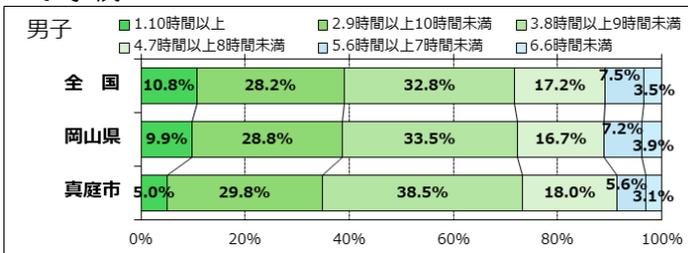


中学校

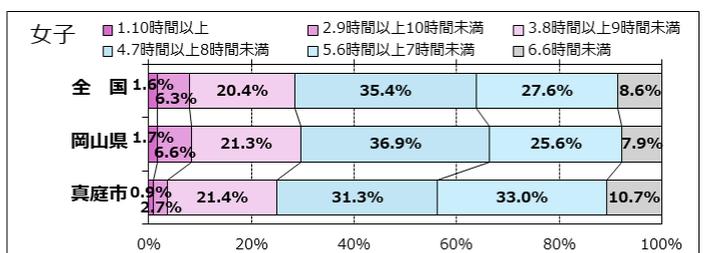
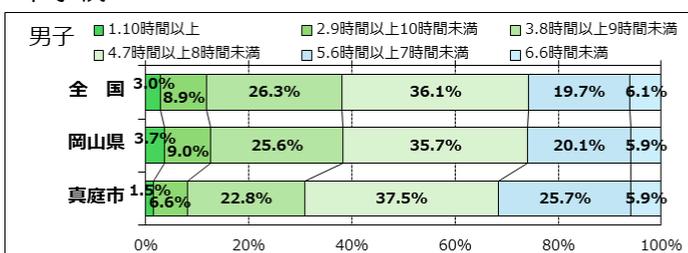


○毎日どのくらい寝ていますか。

小学校



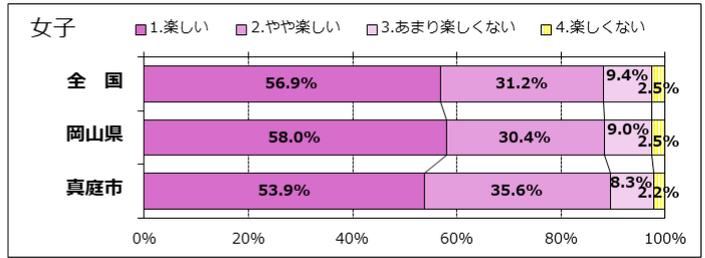
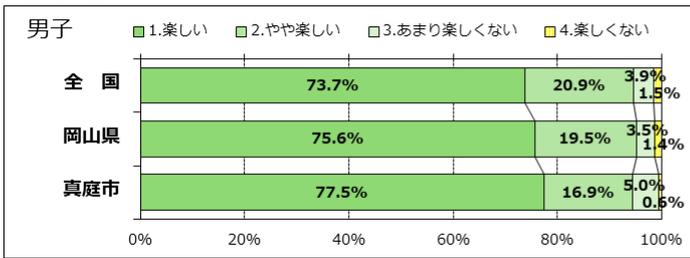
中学校



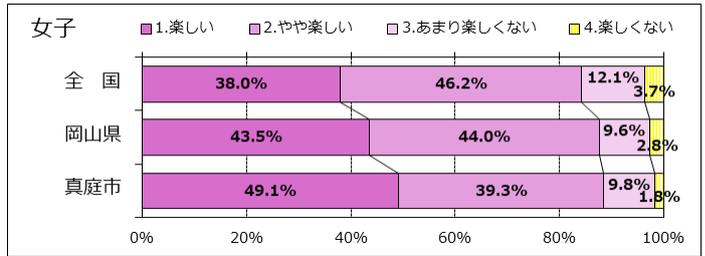
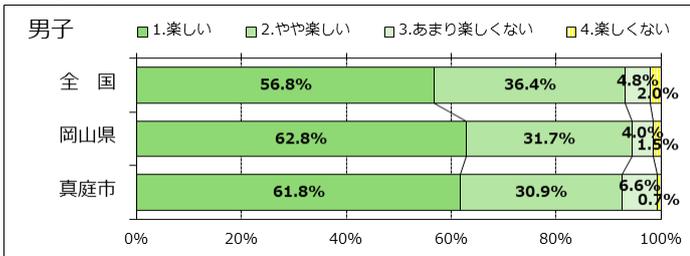
(3) 授業について

○体育(中学校は保健体育)の授業は楽しいですか。

小学校



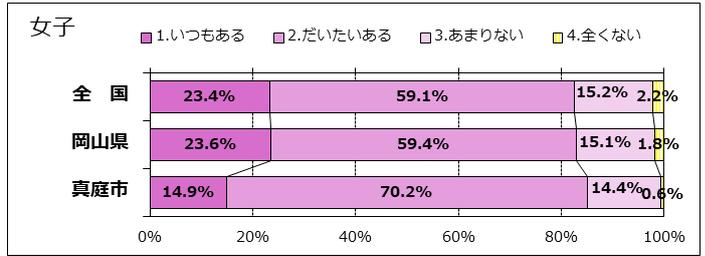
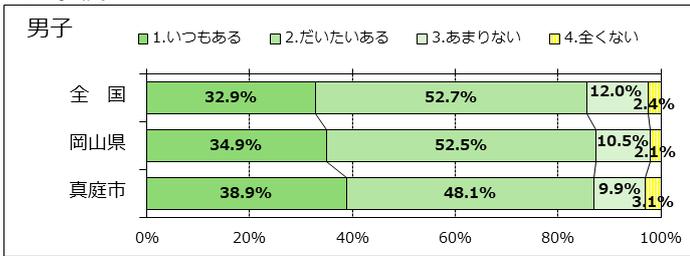
中学校



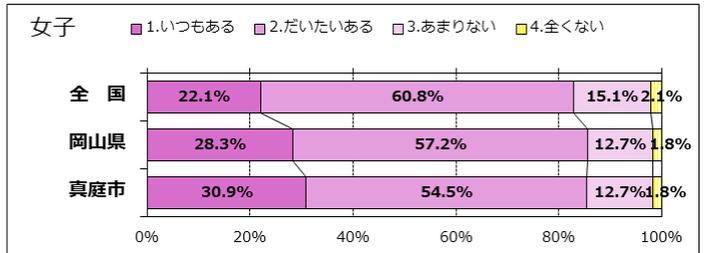
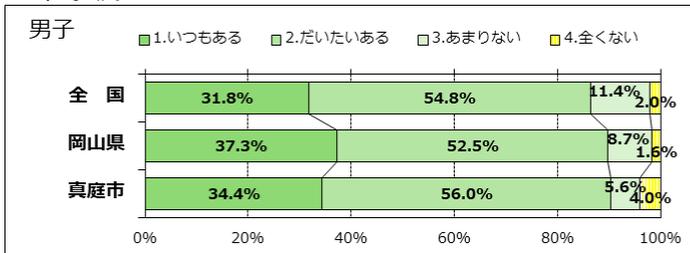
【自律性】

○体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。

小学校



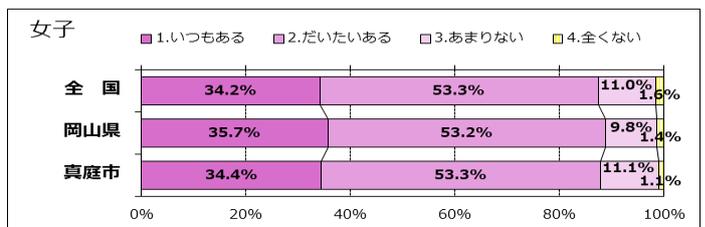
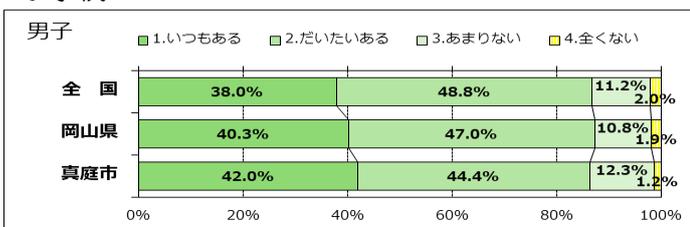
中学校



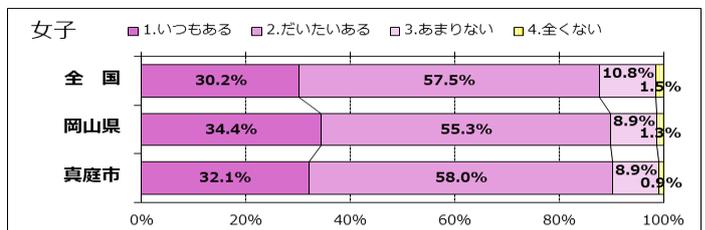
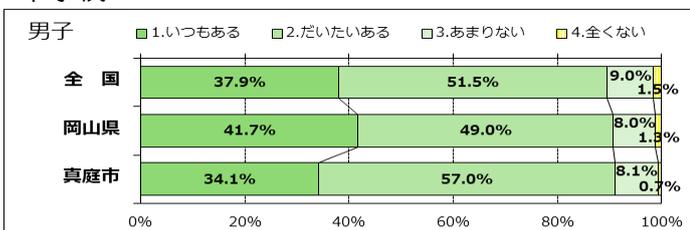
【関係性】

○体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。

小学校



中学校



3 調査結果を受けて

「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の真庭市の結果では、多くの実技種目で全国平均を上回っており、児童・生徒の体力や運動能力が着実に向上していることがわかりました。しかし、シャトルランや反復横跳びの記録が全国平均と比べて低くなっている学年もみられます。今後は、運動量の確保や、個別の課題に応じた活動について考えていく必要があります。また、「中学校進学後、中学校卒業後にも運動やスポーツをする時間をもちたい」と考えている児童・生徒が多くいることも読み取ることができます。子どもたちがスポーツ等に親しむことができるように、学校内の活動をはじめ、真庭市全体で環境を整えていくことが重要だと考えます。

生活習慣の質問からは、真庭市の子どもたちの睡眠時間が、全国や県の平均と比べると短いことがわかります。適切な睡眠時間が確保できるように、様々な視点で子どもたちの生活について考えていく必要があります。

真庭市教育委員会では、「真庭市の教育 グランドデザイン」にも示しているように、「**一緒に楽しむ**」という視点を大切にしています。子どもたちが運動やスポーツの楽しさを実感できるように、以下の取組を続けていきます。

◇授業改善の継続

- ・「めあて」と「ふりかえり」のある授業実践を通して、児童生徒の「**自律性**」や「**主体性**」を高めていくとともに、運動習慣の基盤の確立していきます。
- ・日々の授業の「ふりかえり」などをもとに、それぞれの課題と向き合い、個々に合った活動を選択できるような機会を授業等に取り入れていきます。
- ・体育の授業内における活動において、一定の運動量を確保できるよう、活動内容や取組を工夫していきます。
- ・一人一台端末を有効に活用した授業改善にも取り組みます。
- ・子どもが挑戦したくなるような活動や、交流や協力ができるような課題を設定し、それらを通して「**運動を楽しむことができる**」子どもを育成していきます。

◇体育の授業以外における運動時間の確保

学校行事として体育集会等（マラソン、なわとび、球技など）を実施、休み時間を活用した全校遊び、全校マラソンなどを実施します。また、県の事業を活用したり、各地域の体育行事への参加を啓発したりするなど、各校の実態に応じた取組を継続して行っていきます。

【ご家庭へのお願い】

子どもたちの体力や運動習慣、生活習慣の現状について、ぜひご家庭でも語り合ってみてください。そして一緒に楽しみながら、健康的に過ごすための運動習慣を、子どもたちとともに身に付けていただけたらと思います。

現在真庭市では、全国的な流れのもとで「学校部活動の地域展開」に取り組んでおり、市内のスポーツ・文化活動の環境を見直しています。令和8年度から休日は部活動を行わず、認定地域クラブの活動がスタートしていきます。子どもたちの「やりたい!」という気持ちを叶えられるように、市長部局や関係団体の皆様と協力しながら、これからも取組を進めていきます。

真庭の子どもたちの良さである「**運動を楽しむ気持ち**」や「**体力**」を基盤に、今後も運動・スポーツ活動を通じて、真庭市が目指す「**確かな学力と豊かな心を備え、夢をもって自ら学ぶ子どもの育成**」の具現化に引き続き取り組んでいきたいと考えています。今後とも教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。